

作目名	甘長ピーマン
-----	--------

作型名	ハウス半促成・トンネル早熟
-----	---------------

月 旬 作型	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			品 種
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
ハウス 半促成	ハウス																																				伏見甘長
トンネル 早熟	トンネル																																				伏見甘長

○:は種 ●:仮植 ▲:定植 ■:収穫

○技術体系設定の前提条件

(1) 対象地域

美濃平坦部（岐阜・西濃・中濃）

(2) 立地条件

①気象条件

冬期の日照時間が長く、温暖なこと

②ほ場条件

排水性・保水性が良好で、作土が深く、地力の高い土壌であること

(3) 栽根本数（10 a 当たり）

1,000株～1,500株

(4) 目標収量（10 a 当たり）

ハウス半促成：5.5 t

トンネル早熟：4.5 t

○施肥基準

(1) 施肥基準量 (10a当たり・kg)

①ハウス半促成

施肥成分	総量		基肥	追肥							
				1	2	3	4	5	6	7	8
窒素	化学肥料由来	20	16	1	1	1	1				
	有機質肥料由来	10	6	1	1	1	1				
りん酸	30		22	2	2	2	2				
加里	30		18	3	3	3	3				

②トンネル早熟

施肥成分	総量		基肥	追肥							
				1	2	3	4	5	6	7	8
窒素	化学肥料由来	17	14	1	1	1					
	有機質肥料由来	7	4	1	1	1					
りん酸	24		18	2	2	2					
加里	24		15	3	3	3					

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

- 1 施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。
- 2 土壌分析を行い、土壌改良剤、基肥施用量を決定し、過剰な施肥を避ける。
- 3 育苗培土の施肥成分量は、培土 1 m<sup>2</sup> 当たり窒素0.2kg、りん酸1.0kg、加里0.2kgを基準量とする。